

研修企画：“シェアカン”の御案内

(指導医と研修医とが臨床経験を共有(シェア)し、

1つの症例から最大限学ぶ方法を考えるカンファレンス)

2019.5.15 文責：内科・リウマチ科 鈴木 康倫

日時：毎週水曜 17:00～17:30 (終了時間厳守)

2019年5月15日(水)開始、他にレクチャー/カンファレンスがある週は休み

場所：202 会議室

自称”若手”の指導医はどなたでも御参加下さい。狭い部屋ですので席がなくなった場合は先着順でお願い申し上げます。

【シェアカンとは】

- ・対象は自称”若手”医師、”万年研修医”および学生、初期研修医です。
- ・主として内科系指導医が自身の臨床経験をプレゼンし、シェアします。
- ・提示された内容からいかにして最大限学び、更に明日からの診療行動をどう変えるべきかを参加者全員で議論します。

【シェアカン開始の背景】

医師は生涯勉強しなければなりません。”高い山”に例えられる専門領域は当然のことながら、”裾野”にあたる非専門領域をも広げ続ける努力が求められます。

本カンファレンスは、学生・研修医教育の一環ではありますが、どちらかと言えば**非専門領域の勉強法に悩む指導医側のニーズ**をもとに企画しました。例えば腎臓・リウマチ内科医にとっての内科”非専門領域”とは腹痛、慢性咳嗽、高血糖などの診療が該当します。内科医として十分な経験と知識は備えているつもりですが、消化器内科医(専門医)が診る腹痛診療の深さには到底及びません。非専門領域を中心とした指導医自身の経験をシェアし、ディスカッションすることにより学生・研修医を含む全員の学びが深まることを期待します。カンファレンスでは主として内科疾患を扱いますので、内科各領域の専門医が複数人参加することによりほとんどの疑問はカンファレンスの中で解決することが見込まれます。

毎回のカンファレンス後に全員が必ず成長できるよう、学びを引き出すために議論しましょう。なお、プレゼンはその時話したい人が好きな症例を提示して頂きます。カルテ記載をそのまま映写しますので、スライド作りや配布資料などの**準備は不要**です。

【シェアカンのグランドルール】

参加する**指導医**は、

- ① プレゼンする場合、“その”症例を選んだ自分なりの理由をしておくこと(専門医に相談したい、学びの多い症例のため共有したいなど)、
- ② 必ず発言し、学生・研修医に対して教育的な質問やコメントを行うこと、
の2点をルールとして下さい。

参加する**学生・研修医**は、

- ① 自分が診療しているかのように頭の中でシミュレーションしながら症例呈示をきくこと、
- ② その症例から”最大限”学ぶ方法を考えること(詳細は初回の説明を参考にして下さい)、
- ③ カンファレンス終了までに明日からの診療行動をどのように変えるかを決めること、
の3点を意識して下さい。

非専門領域の勉強においては、学生＝研修医＝指導医の目標は共通です。同じ土俵にたつて、皆で謙虚に学ぶための機会にしたいと考えます。内容は [facebook](#)/ホームページでもシェアしていきますので、是非御覧下さい。